

ア 介護保険

事業名	高齢者介護予防普及啓発事業		会計	08	介護保険特別会計	予算区分	政策
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	03	地域支援事業費	
					項	01	介護予防・日常生活支援総合事業
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	目	02	一般介護予防事業		
主管課	介護支援課		主管課長	菊池 義博		事業コード	01 — 01
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	65歳以上の市民及びその支援の活動に関わる者		介護予防に関する知識の普及啓発を行う。				
事業内容	65歳以上の市民を対象として、要介護・要支援状態となることを予防するための介護予防に関する知識の啓発のための講演会の開催やパンフレットの作成・配布を行う。						
指標	講演会参加人数	638	人	決算額	事業費計		630,506 円
					国庫支出金	128,446 円	
					県支出金	78,813 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	423,247 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



ながいき体操の様子

事業名	介護支援サポーター事業			会計	08	介護保険特別会計	予算区分	政策
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			予 算 科 目	03	地域支援事業費	
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり				01	介護予防・日常生活支援総合事業	
						02	一般介護予防事業	
主管課	介護支援課			主管課長	菊池 義博		事業コード	02 — 02
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者			高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進を図る。				
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65歳以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんポイントに交換できる制度である。							
指標	介護支援サポーター登録者数	69	人	決 算 額	事業費計		8,874,733 円	
	累計登録者数	490	人		国庫支出金	1,807,950 円		
	活動者数	239	人		県支出金	1,109,342 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
					その他特定財源	5,957,441 円		
			一般財源	0 円				
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況			繰越の有無	無	継続費の設定	無	



サポーター養成講座の様子

イ 後期高齢者医療

事業名 給付事務事業		会計		09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常	
		予 算 科 目	款	01	総務費			
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		項	01	総務管理費		
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		目	01	一般管理費		
主管課		高齢者生きがい推進課		主管課長		横山 友二	事業コード 04 — 01	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者			後期高齢者医療被保険者の健康の保持増進と適切な医療を確保する。				
事業内容 後期高齢者医療制度加入者（被保険者）への医療給付（高額療養費、葬祭費、高額介護合算療養費等）に対して、適正に通知、申請受理、給付を行う。								
指標	被保険者数（平均被保険者数）		17,565	人	決算額	事業費計		241,440 円
	葬祭費の支給件数		816	件		国庫支出金	0 円	
	高額療養費支給延べ人数		18,497	人		県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
				その他特定財源	241,440 円			
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		申請書記入例、マニュアル等を活用し分かりやすい説明、申請から給付までの迅速な事務処理を行うことで、適正な給付を行っている。		繰越の有無		無	継続費の設定	無
		繰越・継続費の状況						

事業名 保険料徴収管理事業		会計		09	後期高齢者医療特別会計	予算区分	経常	
		予 算 科 目	款	01	総務費			
政 策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		項	02	徴収費		
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		目	01	徴収費		
主管課		高齢者生きがい推進課		主管課長		横山 友二	事業コード 01 — 02	
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者			後期高齢者医療制度の安定した制度基盤を確立するため、適正な保険料の徴収を行う。				
事業内容 広域連合により算定された年度の保険料額に基づき、徴収する。								
指標	保険料の収納率（現年度分）		99.43	%	決算額	事業費計		9,770,698 円
	保険料の収納率（滞納繰越分）		61.44	%		国庫支出金	0 円	
	コンビニエンスストアでの収納件数		3,610	件		県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
				その他特定財源	9,770,698 円			
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果		保険料の適正な徴収事務を行うことが、後期高齢者医療制度を維持するための財政基盤である保険料の確実な収納に繋がる。		繰越の有無		無	継続費の設定	無
		繰越・継続費の状況						

ウ 国民健康保険

事業名		国保人間ドック・脳ドック助成事業		会計	02	国民健康保険特別会計	予算区分	經常
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予	款	08	保健事業費	
				算	項	02	保健事業費	
				科	目	01	保健衛生普及費	
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		目				
主管課		国保年金課		主管課長		今野 忠光	事業コード	01 — 03
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	人間ドック35歳以上、脳検査・脳ドック40歳以上の国民健康保険被保険者			疾病の早期発見・早期治療を行い、高額な医療費の削減を目的とする。				
事業内容	被保険者の健康の保持増進及び医療費の抑制を図ることを目的として人間ドック、脳検査、脳ドックの利用に対し、人間ドックが25,000円、人間ドック+脳検査が30,000円、脳ドックが25,000円の助成を行っている。							
指標	人間ドック利用件数		1,094	人	決算額	事業費計		51,504,852 円
	人間ドック+脳検査利用件数		443	人		国庫支出金	0 円	
	脳ドック利用件数		433	人		県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
						その他特定財源	51,504,852 円	
				一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無

エ 土地区画整理事業

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業		会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款	02	土地区画整理事業費	
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	項	01	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業費		
主管課	西平井・鱒ヶ崎地区区画整理事務所		目	01	西平井・鱒ヶ崎地区土地区画整理事業費		
主管課長			上野 勝一郎		事業コード	01 — 51	
事業目的	対象（誰を・何を） 西平井・鱒ヶ崎地区内住民		意図（どういう状態にしたいのか） 公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指す。				
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指すものである。						
指標	事業進捗率	90.60	%	決 算 額	事業費計		618,015,944 円
	仮換地指定率	97	%		国庫支出金	206,370,000 円	
	道路整備延長率	85.90	%		県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	411,645,944 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	住宅の建築申請が46件あり、事業の進捗に伴い街並みが形成されてきている。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	有	継続費の設定	無
				前年度から明許繰越額	282,890,480円		
				翌年度への明許繰越額	91,152,200円		
				前年度から事故繰越額	8,856,000円		



完成した宅地及び区画道路

事業名	鱒ヶ崎・思井地区土地区画整理事業		会計	07	土地区画整理事業特別会計	予算区分	政策
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	予 算 科 目	款 02	土地区画整理事業費		
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	項 目	02	鱒ヶ崎・思井地区土地区画整理事業費		
主管課	西平井・鱒ヶ崎地区区画整理事務所		主管課長	上野 勝一郎		事業コード	01 — 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	鱒ヶ崎・思井地区内住民		公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指す。				
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指すものである。						
指標	事業進捗率	51.10	%	決算額	事業費計		817,609,460 円
	仮換地指定率	71.90	%		国庫支出金	224,000,000 円	
					県支出金	0 円	
	道路整備延長率	10.30	%		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	593,609,460 円	
			一般財源	0 円			
指標で表すことができない定性的な成果	工事着手のために、家屋移転2件、工作物移転14件を行い、事業進捗を図った。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		有	継続費の設定
				有	有	有	
				平成25年度から3か年事業費766,452,000円		前年度から明許繰越額180,010,540円	
				平成27年度決算額356,102,000円		翌年度への明許繰越額560,509,840円	
				うち前年度からの進次繰越額3,955,000円		前年度から事故繰越額65,614,300円	
						翌年度への事故繰越額76,806,000円	



完成した鱒ヶ崎調整池（地下式）